

大雪山国立公園連絡協議会登山道維持管理部会（第7回）
表大雪地域/東大雪地域合同会議

日時：令和6年7月25日（木）
13:30～15:10

場所：東川町役場大会議室
（オンライン併用）

次 第

1. 開会

2. 議事

- （1）コーディネーターの委嘱について
- （2）登山道等の協働型管理の進め方について

3. 報告事項

- （1）歩道等維持管理作業実施手順マニュアル（案）の運用について（大連協）
- （2）大雪山の保全ルールの発信状況について（大連協）
- （3）令和6年度における登山道等の整備及び維持管理について（環境省）
- （4）美瑛岳線等の管理について（環境省）
- （5）赤岳第4雪渓補修箇所について（北海道）
- （6）紅葉期の車両通行規制について（上川町）

4. その他

5. 閉会

【配付資料】

次第・出席者名簿

資料 1-1	登山道等の協働型管理の進め方について
資料 1-2	登山道等の協働型管理の進め方について（工程案）
資料 1-2 別紙	大雪山国立公園における登山道の管理状況
資料 2-1	歩道等維持管理作業実施手順案
資料 2-2	歩道等維持管理作業実施手順マニュアル案概要版
資料 3	「大雪山の保全ルール」ポスター配布状況
資料 4	令和6年度における登山道等の整備及び維持管理について
資料 4 別紙	登山道補修等におけるスノーモビルの活用例
資料 5	紅葉期の車両通行規制
参考資料	大雪山国立公園連絡協議会表大雪地域登山道維持管理部会及び 東大雪地域登山道維持管理部会規約

令和6年7月25日

大雪山国立公園連絡協議会 登山道維持管理部会（第7回）
表大雪地域/東大雪地域合同会議 出席者名簿

【構成員】

分野	名称	出席者（敬称略）	備考
関係行政機関	上川中部森林管理署	総括森林整備官 加藤 和宏 首席森林官 佐藤 泉	会場
	上川南部森林管理署	森林情報管理官（管理） 米田 和敏 総務グループ（管理） 田辺 結葉	WEB
	北海道上川総合振興局	環境生活課 主査（山岳担当） 中島 浩之	会場
	富良野市	—	欠席
	上川町	産業経済課 商工観光グループ係長 畠山 直樹	会場
	東川町（旭岳ビジターセンター）	所長 田淵 浩	WEB
	美瑛町	商工観光交流課 主事 柳田 瑤介	WEB
	上富良野町	—	欠席
	南富良野町	—	欠席
	十勝西部森林管理署東大雪支署	—	欠席
	北海道十勝総合振興局	—	欠席
	士幌町	—	欠席
	上士幌町	—	欠席
	鹿追町	商工観光課 係長 常清 拓也 ジオパーク推進課係長 大西 潤	WEB
	新得町	産業課 観光振興係 工藤 励斗	WEB
維持管理・ 利用・環境 教育関係団体	NPO 法人かむい	代表理事 濱田 耕二	WEB
	NPO 法人大雪山自然学校	—	欠席
	勤労者山岳連盟（道央地区）	—	欠席
	合同会社北海道山岳整備／ 一般社団法人大雪山・山守隊	代表 岡崎 哲三 事務局 下條 典子	会場
	層雲峡ビジターセンター	センター長 片山 徹	会場
	山樂舎 BEAR	—	欠席
	大雪山倶楽部	副代表 西元 徹	WEB
	大雪山国立公園パークボランティア連絡会	会長 垣内 雅人	会場
	TREE LIFE	—	欠席
	富良野山岳会	—	欠席
	北海道山岳ガイド協会 （表大雪地区）	大雪連絡調整室 鳥羽 晃一	会場
	Asahidake Trail Keeper	代表 藤 このみ	会場
	NPO 法人ひがし大雪自然ガイドセンター	—	欠席
	新得山岳会	事務局長 富山 幸朗	WEB

維持管理・ 利用・環境 教育関係団体 (続き)	十勝山岳連盟	会長	齊藤 邦明	WEB
	大雪と石狩の自然を守る会	代表	寺島 一男	会場
	山のトイレを考える会	代表 事務局長	小枝 正人 仲俣 善雄	WEB
自然保護関係 団体	山岳レクリエーション管理研究会	事務局長	山口 和男	WEB
調査・研究 関係	北海道大学大学院	教授	渡辺 悌二	会場
	地球環境科学研究院	助教	王 婷	
	北海道大学大学院農学研究院	教授	愛甲 哲也	WEB

【オブザーバー（出席団体のみ記載）】

分野	名称	出席者（敬称略）	備考
維持管理・ 利用・環境 教育関係団体	美瑛山岳会	理事長 内藤 美佐雄	会場
	公益社団法人日本山岳会 北海道支部	支部常任委員 自然保護担当 藤 理恵子 支部常任委員 藤木 俊三	会場

会場出席 11 団体／ 15 名

WEB 出席 12 団体／ 15 名

【事務局】

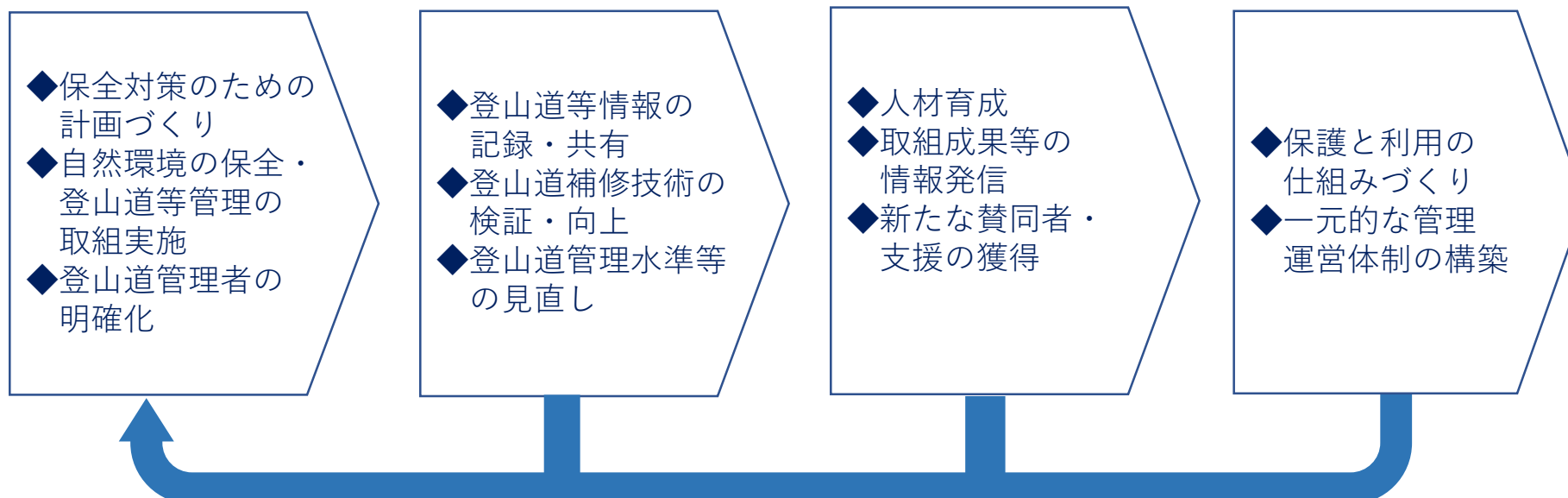
所属	出席者	備考
北海道地方環境事務所 大雪山国立公園管理事務所	所長 杉本 頼優 国立公園保護管理企画官 野口 尚史 上席国立公園管理官 友野 雄己 国立公園管理官 西井 野乃香 自然保護官補佐 忠鉢 伸一 自然保護官補佐 村岡 龍岳	
東川管理官事務所	国立公園管理官 森田 由女花 自然保護官補佐 渡邊 あゆみ	
上士幌管理官事務所	国立公園管理官 永田 拳吾 自然保護官補佐 上村 哲也	

<大雪山国立公園ビジョン>

まもり、活かし、つなげよう みんなでつくる、世界を魅了する大雪山国立公園

- | | |
|------------------------------|--|
| (1)大雪山の自然環境が守られ、より豊かになった国立公園 | ⇒大雪山グレードに応じた保全 |
| (2)魅力を活かし、質の高い利用体験ができる国立公園 | ⇒大雪山グレードに応じた管理と利用 |
| (3)つながっていく国立公園 | ⇒来訪者に向けた情報発信
⇒大雪山国立公園に関わるすべての人々に向けた価値の発信 |
| (4)みんなが協働して管理運営する国立公園 | ⇒協働型管理体制の維持、管理運営への利用者の参加・地域連携
⇒みんなが学び成長し将来世代へ引き継ぐ国立公園 |

「協働型管理」によるビジョンの実現



各取組の実施にあたっては、相互の連携を図るとともに、実施した取組結果を点検し適宜見直しを行いながら推進

<資料1-2>大雪山国立公園ビジョンに基づく登山道等の協働型管理(工程案)

2024年7月現在

取組事項	主な取組項目	2023(R5)年度までの取組内容	2024(R6)年度	2025(R7)年度	2026(R8)年度以降	備考
(1)大雪山の自然環境が守られ、より豊かになった国立公園 ⇒大雪山グレードに応じた保全						
(2)魅力を活かし、質の高い利用体験ができる国立公園 ⇒大雪山グレードに応じた管理と利用						
●保全対策のための計画づくり	○優先度の高い路線の保全計画 ○実施結果を踏まえた順応的管理 ○野営指定地等の管理方策の検討	・優先度の高い路線(中岳裾合平線(R3)、大雪山縦走線、ヤンベタツプ五色岳線等)における調査・設計を実施	・登山道の現状及び管理状況等を踏まえた大雪山全体における優先路線・箇所の確認、共有 ・縦走線(五色岳～ヒサゴ分岐)の追加設計			・<別紙>登山道の管理状況を参照 ・登山道管理に加え、野営指定地、避難小屋、トイレ等の管理のあり方についても併せて検討
●自然環境の保全・登山道等管理の取組実	○自然環境保全のための基盤的整備 ○登山道管理者と利用者等の協働による維持管理	・基盤的整備(中岳裾合平線、ヤンベタツプ五色岳線等)を実施 ・維持管理(層雲峡勇駒別線、松仙園線、沼ノ平姿見の池線、中岳裾合平線、大雪山縦走線、銀泉台白雲岳線、高原温泉高根ヶ原線、勇駒別周回線、トムラウシ山線等)を実施	・対象路線における整備・維持管理を実施 ・路線に応じた持続的な協働型管理体制の検討 ・中岳裾合平線道路(歩道)改修工事	・ヒサゴ沼区間保全工事の実施	・縦走線(五色岳～ヒサゴ分岐)の保全工事実施	・<別紙>登山道の管理状況を参照
●登山道管理者の明確化	○管理者不在の路線における管理者の明確化	・未執行路線(美瑛富士線、美瑛岳線、糠平ウベサンケ線等)の課題状況の把握、関係者間での調整を実施	・各路線の課題解決を図るための事業執行に向けた調整継続			・<別紙>登山道の管理状況を参照
●登山道等情報の記録・共有	○登山道等情報のデータベース構築 ○登山道等情報の共有・活用	・優先度の高い路線について動画撮影を実施 ・データベースへの記録情報の蓄積 ・「登山道等荒廃写真撮影ワークショップ」の実施	・登山道等情報の記録の継続 ・保全対策へのデータ活用・共有			
●登山道補修技術の検証・向上	○補修結果の評価・検証 ○補修技術の向上	・「登山道補修技術検討会」の実施、課題路線における補修対応	・補修対象路線の実施結果の評価・検証の継続			
●登山道管理水準等の見直し	○「登山道管理水準」の見直し検討 ○「登山道整備技術指針」の見直し検討	・見直しに向けた歩道情報の収集、課題事例・技術情報の蓄積	・見直しに向けた歩道情報の収集、課題事例・技術情報の蓄積			
(3)つながっていく国立公園 ⇒来訪者に向けた情報発信、大雪山国立公園に関わるすべての人々に向けた価値の発信						
●取組成果等の情報発信	○各保全の取組、保全ルール等の情報発信	・「大雪山の保全ルール」の検討・策定 ・情報発信媒体の検討・作成(ポスター) ・情報発信する取組成果の蓄積	・「大雪山の保全ルール」の発信 ・取組成果の蓄積、評価 ・より効果的な情報発信方法の検討			
●新たな賛同者・支援の獲得	○様々な主体の新たな賛同者・支援の獲得	・「白雲岳避難小屋周辺登山道維持管理協力金」や東川町等による取組継続 ・各山岳関係イベントや「協力金フォーラム」等の開催	・各種イベント等を通じた新たな賛同者・支援を獲得するための機会を継続			・2024年は「大雪山国立公園指定90周年」
(4)みんなが協働して管理運営する国立公園 ⇒協働型管理体制の維持、管理運営への利用者の参加・周辺地域との連携、みんなが学び成長し将来世代へ引き継ぐ国立公園						
●人材育成	○補修技術者の人材育成	・「白雲岳協力金」を活用を通じた人材育成 ・「登山道整備リーダー育成研修会」、「登山道維持管理勉強会」の実施	・各種研修会・補修イベント等の継続			
●保護と利用の仕組みづくり	○大雪山国立公園全体における保全の仕組みづくり	・各協力金やクラウドファンディングを活用した取組を実施	・「白雲岳協力金」等の展開に向けた具体的検討			
●一元的な管理運営体制の構築	○国立公園の一元的な管理運営体制の構築	・一元的な管理運営体制(大雪山財団(仮称))の必要性や目指す方向性について共有	財団設立に向けた必要事項やスケジュールについて折を見て検討			

＜資料1-2別紙＞大雪山国立公園における登山道の管理状況

資料1-2別紙
2024年 7 月現在

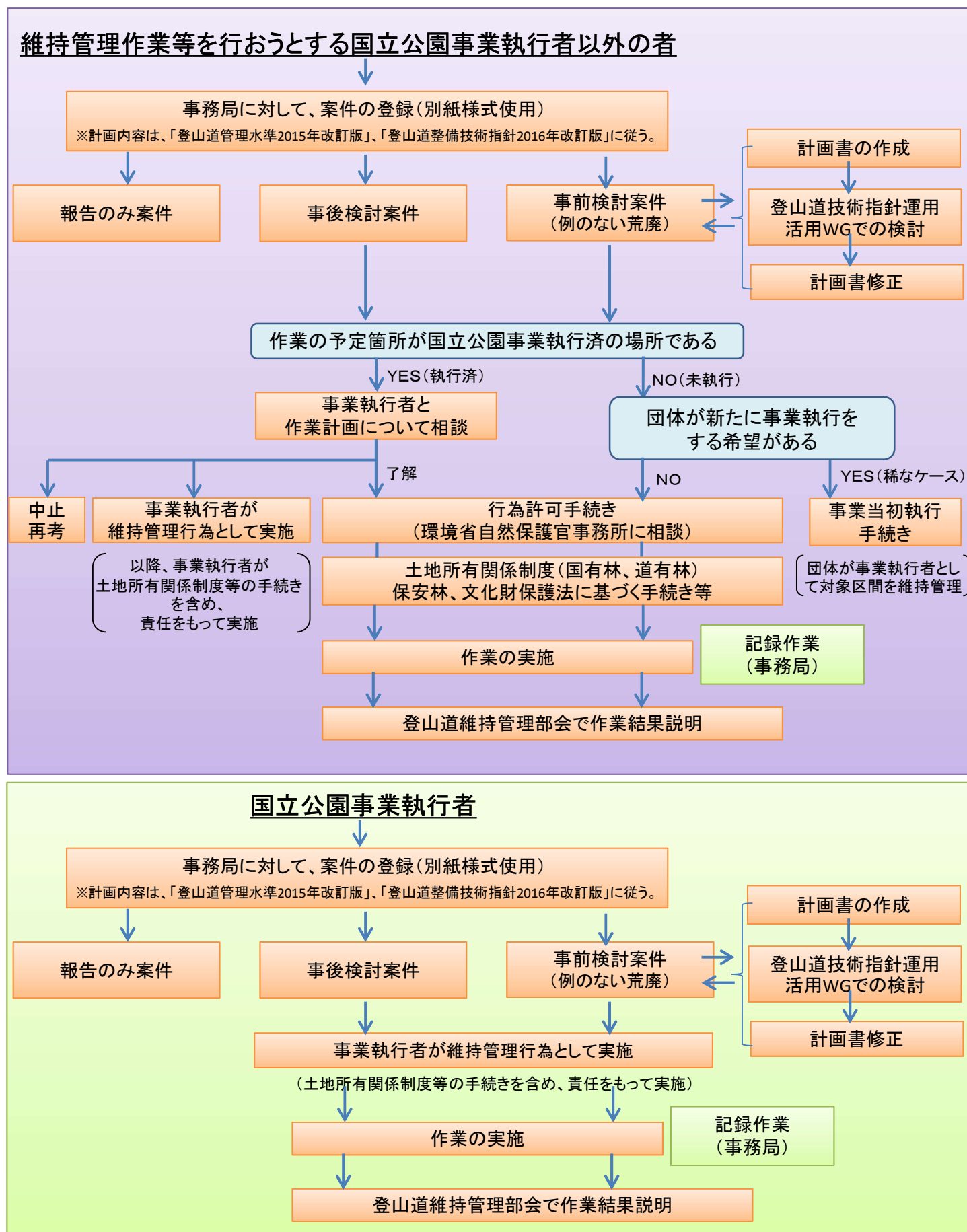
公園計画・大雪山グレード			事業執行の状況			再整備・維持管理等の状況			実施予定 ○：調査・計画・設計等 ●：整備（基盤的整備） ◎：維持管理（補修・点検・モニタリング）					備考（記録）
番号	路線名	グレード	事業執行者	執行区間・内容	課題状況（保全対策ランク等）	事業・取組名	実施主体	取組内容（R6年度）	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	
1	原始ヶ原線	G4	未執行			●下草刈、枝払い	富良野山岳会							
2	層雲峡ニセイカウシュッペ山線	(G3) ※朝陽山まで点線表示	未執行		・「ランクA」：登山口付近 ・管理者不在	●ササ刈り								
3	層雲峡勇駒別線	G4, G3, G2	北海道	■層雲峡集団施設地区～勇駒別集団施設地区	・「ランクA」：北海沢～北海岳分岐間、裏旭～旭岳間 ・「ランクB」：黒岳石室分岐～北海沢間、黒岳石室分岐～北鎮分岐、勇駒別園地～姿見の池園地	●登山道補修イベント	発注：北海道 受注：（一社）大雪山・山守隊	・補修イベントを実施（黒岳石室～雲ノ平）	◎					「たまには山に恩返し」
			(株)りんゆう観光	■黒岳7合目～見晴らし台	・「ランク非適用」 登山道管理水準改定に合わせて設定が必要		(株)りんゆう観光							通称「黒岳遊歩道」
			環境省	■中岳分岐～間宮分岐	・「ランクC」：中岳分岐～間宮分岐間で風衝地群落保全のための侵食対策が必要	●上川・東川地区登山道点検等業務 ●登山道補修業務（予定）	●発注：環境省 受注：(同)北海道山岳整備 ●未定	・点検、維持管理、モニタリングを実施（中岳分岐～間宮分岐） ・侵食防止対策を実施（中岳分岐～間宮分岐）	◎	◎	◎	◎	◎	
				案内図標識（2基）										
5	紅葉谷線	G1	上川町	■紅葉谷入口～紅葉滝			上川町							
6	雲井ヶ原線	非適用	未執行											
7	愛山溪北鎮岳線	G3, G2	北海道	■愛山溪温泉～北鎮分岐	・「ランクB」：北鎮岳～北鎮分岐 ・滝コース閉鎖		北海道	・滝コースについては現状確認を実施した上で閉鎖を継続予定						
			環境省	■三十三曲分岐～沼ノ平分岐		●上川地区登山道補修等業務 ●上川・東川地区登山道点検等業務	発注：環境省 受注：(同)北海道山岳整備	・点検、維持管理、モニタリング（三十三曲分岐～沼ノ平分岐）	◎	◎	◎	◎	◎	
				案内図標識										
8	松仙園線	(G4) ※管理水準未反映	環境省	■松仙園登山口～八島分岐	・「ランク非適用」 登山道管理水準改定に合わせて設定が必要 ・泥濘及び侵食箇所への補修、植生モニタリングが必要	●松仙園登山道改修等業務	発注：環境省 受注：NPO法人かむい	・泥濘及び侵食箇所への飛木道等の施工（八島分岐付近） ・植生モニタリング	◎	◎	◎	◎	◎	
		非適用	未執行	■愛山溪温泉～松仙園登山口										安定間林道（北海道）
9	沼ノ平姿見の池線	G3, G2	環境省	■沼ノ平分岐～姿見の池	・過年度整備の木道が老朽化	●上川地区登山道補修業務 ●上川・東川地区登山道点検等業務 ●補修箇所調査業務（予定）	●発注：環境省 受注：(同)北海道山岳整備 ●発注：環境省 受注：(同)北海道山岳整備 ●未定	・泥濘箇所に飛び木道設置（沼ノ平分岐～当麻乗越） ・スノーモービルによる資材荷揚げ（沼ノ平付近） ・点検、維持管理、モニタリング（三十三曲分岐～当麻乗越～姿見の池） ・補修箇所の調査及び補修方法の検討（裾合分岐～当麻乗越）	◎	◎	◎	◎	◎	
		G1												
10	当麻岳線	G4	未執行		・「ランクB」：安定間岳上部 ・管理者不在									北海道が歩道敷地を借地
11	中岳裾合平線	G3	北海道	■裾合平分岐～中岳温泉	・「ランクA」裾合平分岐～裾合平間の木道が老朽化	●OFを活用した登山道補修	発注：北海道 受注：（一社）大雪山・山守隊	・登山道補修を実施（裾合平分岐～中岳温泉）	◎					「たまには山に恩返し」
		G4	環境省	■中岳温泉～中岳分岐	・「ランクC」：中岳温泉～中岳分岐間で風衝地群落保全のための侵食対策が必要	●中岳裾合平線歩道再整備 ●上川・東川地区登山道点検等業務 ●登山道補修業務（予定）	●発注：環境省 受注：(株)イトイ産業 ●発注：環境省 受注：(同)北海道山岳整備 ●未定	・再整備工事を実施（中岳温泉～中岳分岐） ・点検、維持管理、モニタリング（中岳温泉～中岳分岐） ・侵食防止対策を実施（中岳温泉～中岳分岐）	◎	◎	◎	◎	◎	
12	大雪山縦走線	G5, G4	北海道	■北海岳分岐～白雲岳避難小屋 ■高根ヶ原分岐～富良野岳山頂	・「ランクA」：北海岳分岐～白雲岳避難小屋分岐、ヒサゴ沼北分岐下部～ヒサゴ沼避難小屋分岐、ヒサゴ沼付近（雪渓下部）、トムラウシ山～南沼、富良野岳肩上部～富良野岳 ・「ランクB」：白雲岳避難小屋分岐～高根ヶ原分岐手前、平ヶ岳付近、忠別岳避難小屋分岐～忠別岳南避難小屋	●白雲岳避難小屋周辺登山道維持管理協力金による登山道補修	発注：上川地区登山道等維持管理協議会 受注：(同)北海道山岳整備	・登山道補修（北海岳～白雲岳避難小屋）	◎	◎	◎	◎	◎	
			北海道 ↓ 環境省	■白雲岳避難小屋～高根ヶ原分岐 ■高根ヶ原分岐～ヒサゴ沼		●大雪山縦走線歩道再整備工事	環境省	・R6年度において追加設計を実施予定 ・ヒサゴ沼周辺歩道の再整備工事はR5、R6年度入札不調によりR7年度に延期予定	○	● ◎	● ◎	● ◎	● ◎	環境省直轄化を予定している区間 R3年度に高根ヶ原分岐～五色岳間、R4年度にヒサゴ沼周辺歩道、R5年度に五色岳～ヒサゴ分岐（一部除く）の再整備設計済み
				案内図標識（4基）										
			未執行	■富良野岳山頂～原始ヶ原登山口										
13	銀泉台白雲岳線	G4, G3, G2	北海道	■銀泉台～白雲岳	・「ランクB」：第一花園上部～赤岳	●登山道補修	登山道維持管理委員会（登山道補修技術検討会）	・R3～R4年度の施工箇所に対する補修を実施（赤岳第四雪渓付近）。	◎	◎	◎	◎	◎	(旧) 黒岳間宮岳線道路（歩道）
			環境省	案内図標識										
14	高原温泉小泉岳線	G4, G3	林野庁	■高原温泉～小泉岳分岐										白雲岳協力金による補修対象区間
			環境省	案内図標識										
			未執行	■板垣新道分岐～白雲岳避難小屋分岐	・「ランクB」：板垣新道分岐～白雲岳避難小屋分岐 ・管理者不在									
15	高原温泉高根ヶ原線	(G5、)G3, G2 ※三笠新道は点線表示	北海道	■高原温泉～高根ヶ原分岐・空沼		●登山道補修	発注：北海道 受注：(同)北海道山岳整備	・泥濘箇所に飛び木道設置 ・ヒグマセンターにおける募金の活用、ボランティア活動	◎	◎	◎	◎	◎	三笠新道は、ヒグマとの軋轢防止のため、ヒグマの定着が確認され次第閉鎖

＜資料1-2別紙＞大雪山国立公園における登山道の管理状況

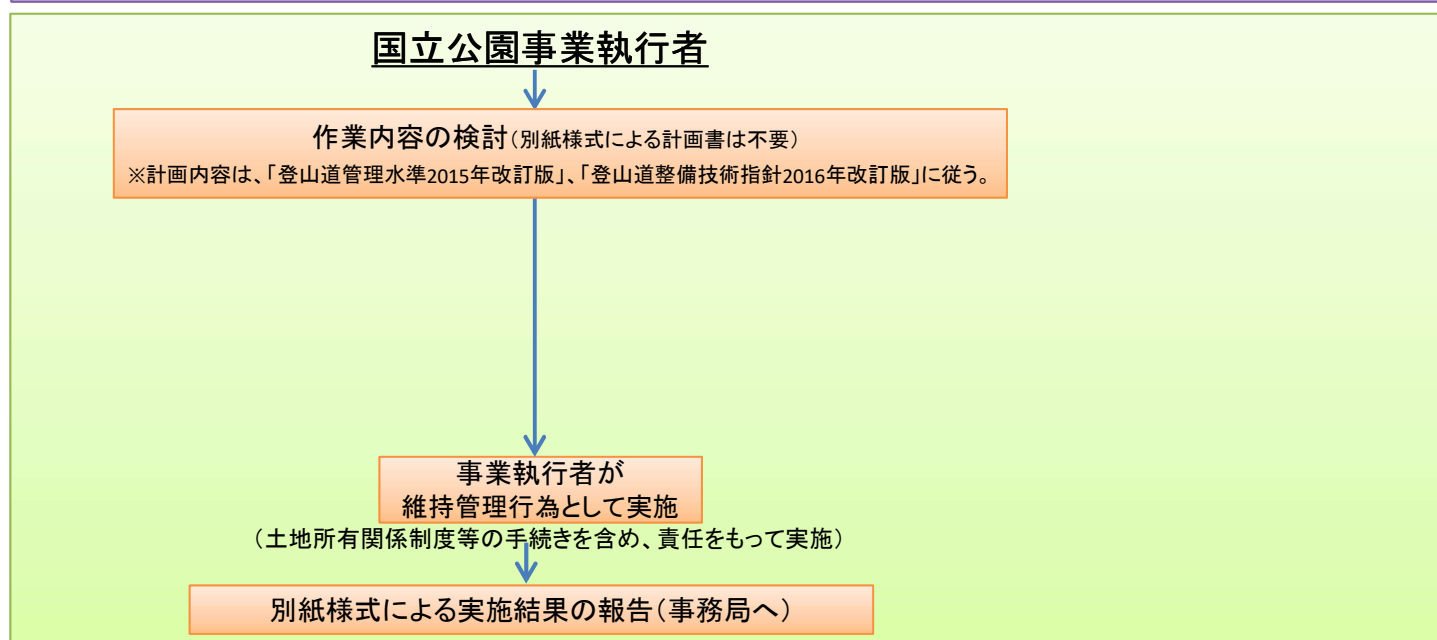
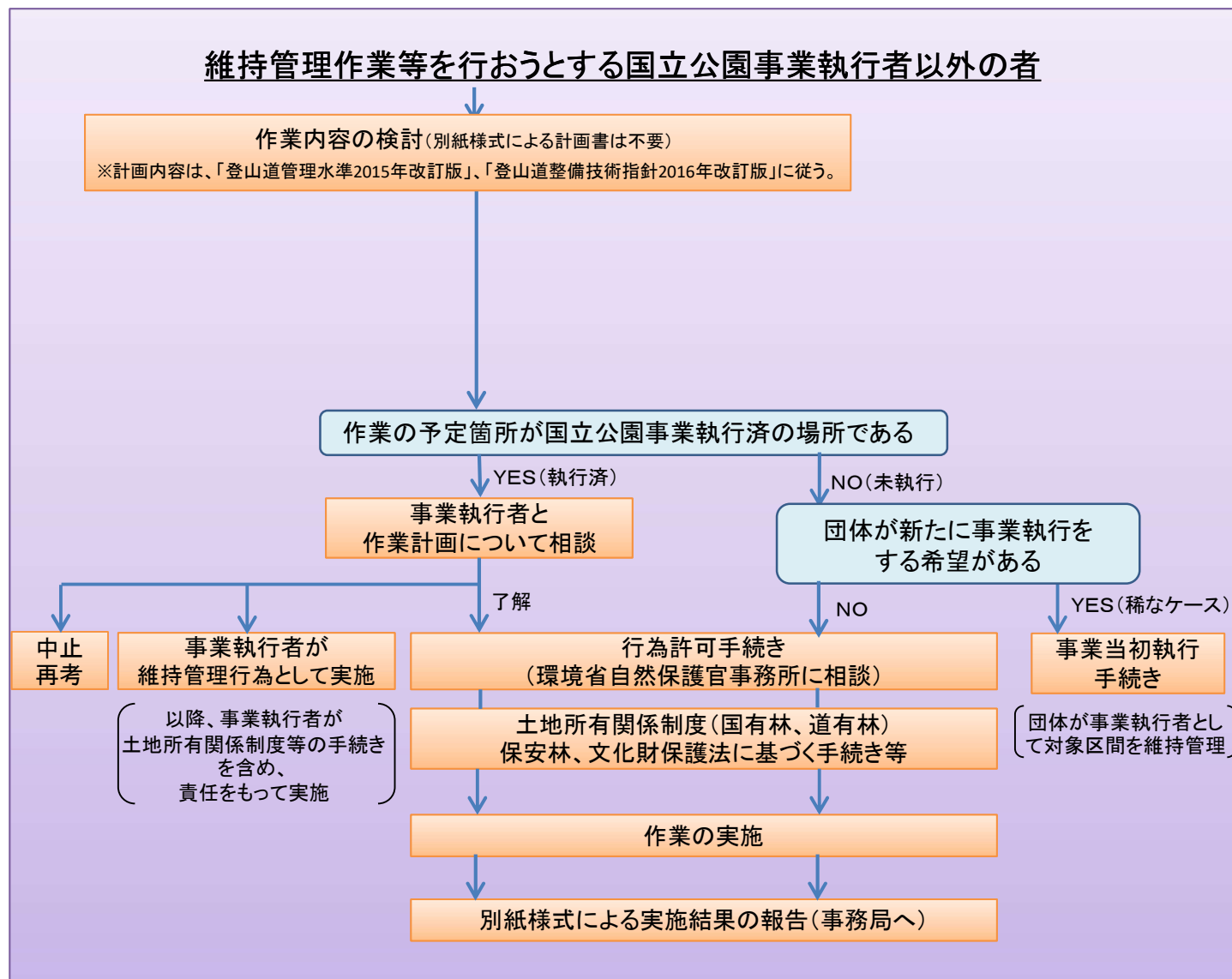
資料1-2別紙
2024年 7 月現在

17	ヤンベタツプ五色岳線	G4	北海道	■クチャンベツ沼ノ原登山口～沼ノ原分岐 ■沼ノ原大沼～五色岳	・「ランクA」：クチャンベツ沼ノ原登山口～沼ノ原分岐における中腹区間の侵食が進行 ・「ランクC」：沼ノ原大沼～五色岳間の木道が老朽化	●老朽化した沼ノ原大沼～五色岳間の木道の更新	北海道	・再整備設計を実施（沼ノ原大沼～五色岳）	● ◎	○ ◎	● ◎	● ◎	● ◎	自然環境整備交付金を活用し、R4年度から再整備事業に着手
			環境省	■沼ノ原分岐～沼ノ原大沼		●上川・東川地区登山道点検等業務	発注：環境省 受注：(同)北海道山岳整備	・点検、維持管理、モニタリング（沼ノ原分岐～沼ノ原大沼）	◎	◎	◎	◎	◎	
		非適用	未執行	■ヤンベタツプ川合流点～クチャンベツ沼ノ原登山口										層雲峡本流林道（林野庁）
18	勇駒別周回線	G1	東川町	■勇駒別集団施設地区（南側）			東川町	・維持管理	◎	◎	◎	◎	◎	
		G1	未執行	■勇駒別集団施設地区（北側）										
19	天人峡勇駒別線	(G3) ※点線表示	未執行	■天人峡温泉～勇駒別集団施設地区	・「ランクA」：天人峡旭岳温泉方面登山口付近 ・管理者不在									通行止め（一般利用なし）
		環境省		案内図標識										
20	羽衣敷島の滝線	G1	北海道											通行止め？
		非適用	未執行											
21	天人峡化雲岳線	G5, G4, G2	林野庁	■天人峡温泉～化雲岳・歩道合流点	・「ランクA」：小化雲岳直下（ボン沼南）付近 ・「ランクB」：第二公園付近	●下草刈り	林野庁上川中部森林管理署		◎					
		環境省		案内図標識										
22	美瑛富士線	G3	未執行		・「ランクA」：標高1350m付近～美瑛富士避難小屋分岐・オプタテシケ方面分岐 ・管理者不在	●枝払い、ササ刈り	美瑛山岳会							
23	白金温泉十勝岳線	G3, G2	北海道	■白銀温泉～十勝岳		①維持管理 ②登山道整備（PV行事）	①上川総合振興局 ②環境省（PV）	①望岳台付近ロープ張り ②登山道沿いのロープ張り、ロープおろし	◎	◎	◎	◎	◎	
		環境省		案内図標識										
24	望岳台十勝岳温泉線	G2	未執行											
25	美瑛岳線	G3	未執行		・「ランクB」：美瑛岳分岐～美瑛岳・北向沢のハシゴの維持管理 ・管理者不在	●ボランティアで随時パトロール	美瑛山岳会	・ハシゴ、登下降用ロープの安全確認（予定）						
26	三段山線	G3	上富良野町	■吹上温泉～三段山～十勝岳温泉		●標識整備	上富良野町	・老朽化した標識の再整備	◎					
27	富良野岳上ホロカメツク山線	G3	北海道	■十勝岳温泉～富良野岳・上ホロカメツク山	・富良野岳肩上部における侵食、階段ハードル化	●登山道整備（PV行事） ●登山道整備	環境省（PV） 上川総合振興局	・PV活動による登山道沿いのロープ張り・下ろし ・富良野岳肩上部における浸食等の現場検証及び老朽化した標識壁再整備予定、（上川総合振興局）	◎	◎	◎	◎	◎	
		環境省		案内図標識										
28	十勝三股ニベソツ山線	G4	未執行		・「ランクB」：前天狗岳下部における侵食	●登山道整備事業	ひがし大雪自然館運営協議会	・ササ刈り、倒木処理、ロープ張りを実施						
		非適用	未執行											
29	石狩連峰縦走線	G5, G4, G3	未執行			●登山道整備事業	ひがし大雪自然館運営協議会	・ササ刈り、倒木処理、かん木除去を実施						
		非適用	未執行	■十勝三股～シュナイダー登山口										音更川本流林道
30	糠平ウベベサンケ山線	G3	未執行	■糠平コース登山口～ウベベサンケ山		●登山道整備事業	ひがし大雪自然館運営協議会	・ササ刈り、倒木処理、かん木除去を実施						
		非適用	未執行	■糠平温泉～糠平コース登山口										
31	糠平天宝山線	G2	未執行		・旧鉄道トンネル迂回箇所の危険箇所	●登山道整備事業	ひがし大雪自然館運営協議会	・ササ刈り、倒木処理、かん木除去を実施						
32	然別峡ウベベサンケ山線	非適用	未執行	■菅野温泉東コース登山口～ウベベサンケ山										（実質通行止め？）
			未執行	■然別峡～菅野温泉東コース登山口										ユウヤンベツ林道（今も通行止め？）
33	南ベウトトル山線	G2	未執行			●登山道整備事業	然別自然休養林保護管理協議会	・ササ刈り、倒木処理、かん木除去を実施						
34	天望山周回線		林野庁	■白雲橋～然別湖南岸		●登山道整備事業	然別自然休養林保護管理協議会	・ササ刈り、倒木処理、かん木除去を実施	◎					
			環境省	案内図標識										
			未執行											
35	駒止湖東ヌブカウシヌブリ線	G2, G1	未執行			●登山道整備事業	然別自然休養林保護管理協議会	・ササ刈り、倒木処理、かん木除去を実施						
36	西ヌブカウシヌブリ	G2	未執行			●登山道整備事業	然別自然休養林保護管理協議会	・ササ刈り、倒木処理、かん木除去を実施						
37	トムラウシ山線	G5, G4	環境省	■トムラウシ温泉～トムラウシ分岐	・「ランクA」：トムラウシ分岐付近 ・「ランクB」：トムラウシ公園～トムラウシ分岐付近	●登山道整備事業	点検：新得山友会 補修発注：環境省 補修受注：(同)北海道山岳整備	・点検：維持管理作業 ・補修：簡易木道施工	◎	◎	◎	◎	◎	「たまには山に恩返し」
		G4	未執行	■短縮コース登山口～温泉コース分岐										
39	曙橋十勝岳線	G4	未執行											
41	北海道自然歩道線	G1	北海道			●歩道整備事業	北海道	・老朽化して危険な階段・木道の更新						自然環境整備交付金使用
		非適用	未執行											

(1) 歩道の維持管理作業(補修等)の場合の実施手順



(2) 歩道の維持管理作業(刈り払い等)、看板類の設置・補修、歩道の表示の場合の実施手順



〔※毎年冬季の登山道の維持管理に関する協議体(情報交換会)で、実施結果の検討、歩道等に関する現状と課題の更新。〕

歩道等維持管理作業実施手順マニュアル【案】

※令和2年度概要作成、令和4年3月の登山道技術検討会にて一部更新

大雪山国立公園における登山道の適切な管理のため、補修案件について情報の共有（情報公開）、技術の検討、事例の蓄積を行い、補修・施工品質の確保・向上を図るもの。

手順	①案件の登録 - 計画者から事務局に案件登録 ⇒A4で1/2ページ程度の様式を提出、または、電話等でも可（実施場所、課題状況、実施内容、工法の方方向性等） - 事務局担当職員が大雪山国立公園連絡協議会のホームページへ案件掲載
	②対象案件の判定 - 案件の内容に応じて、次の判定結果をそれぞれ計画者に伝える。 ③－1：事前検討案件、 ③－2：事後検討案件、 ③－3：報告のみの案件 ※事務局が、案件に応じて判断する。 ※ササ刈りの他、次の施工案件は「③－3 報告のみ」とする。 - ぬかるみ解消を目的とした掘削を伴わない木道の設置 - 腐朽した木道の張替え - 段差を2段以内追加する段差処理 > <今後も要検討> 考え方としては、誰が行っても同じ結果となり、自然環境保全上問題が生じなさそうなものを報告のみ案件とする。 ※事前検討すべきと考えられるものについて、事務局で検討のうえ、WGメンバーの意見を聞いて決定。
	③－1：事前検討案件 - 対象：これまでに対応事例のない荒廃や崩落等の案件 - 年間案件数：1～2件を想定 - 計画者に対して補修に関する作業計画書の作成を依頼（事務局担当職員） - WGによる計画書の事前検討（事務局担当職員） - 必要に応じ計画者が作業計画書を修正 - 計画者による作業の施工 - 事務局担当職員による作業結果報告書の作成 （請負業務の場合は計画者が業務で作成） <技術的助言の要請> ■計画者が施工方法について幅広い意見を得たい場合、作成した作業計画書について、WGメンバーに意見を求めることができることとする。 ・受付期間：シーズンオフ（10月～翌年5月） ・手順：計画者が作業計画書を作成して事務局に提出 事務局からWGメンバーに意見を照会（2週間程度） WGメンバーからの意見を計画者にフィードバックし作業計画書を修正
	③－2：事後検討案件 - 対象：「登山道整備技術指針」に基づき、施工内容の適正や妥当性を判断できる案件 - 年間件数：20件程度を想定 - 事務局による施工内容への助言 ⇒事前に自然環境保全上留意した方がよい点がある場合、不可逆な状況が生じないか等の観点から、案件登録の情報をもとに、必要な案件に対してコメントを行う - 事務局による施工結果の現場確認 - 事務局による記録報告作成（写真・文章＋動画） （請負業務の場合は計画者が業務で作成） - 事務局が、登山道維持管理部会における検討案件にするかどうかについて専門家の意見も踏まえ検討
	③－3：報告のみの案件 対象：登録時に判定された報告のみの案件 - 計画者が作業を実施 - 計画者が作業実施結果を、事務局に報告する（実施結果を簡潔にまとめた概要＋写真1枚程度）
	④－1：登山道維持管理部会での検討 対象：WGメンバー、部会構成員 - 事務局が、③－1及び③－2の案件の中から検討対象の重点案件を選定 - 計画者（施工者）が、案件の実施結果について報告 - 部会参加者で議論し、実施結果に対する改善事項等を整理 - 選定した重点案件以外の他の案件についても、改善点及び留意事項等があれば抽出 大雪山国立公園連絡協議会 登山道維持管理部会 （通常部会、技術検討会の開催） 登山道整備技術指針 運用・活用WG ○事務局 大雪山国立公園管理事務所
	④－2：作業結果の報告、共有 - 事務局担当職員が実施結果を大雪山国立公園連絡協議会ホームページに掲載 - 部会構成員等により情報共有
	⑤登山道整備技術指針の改訂に向けた知見の蓄積 - 各年における実施結果をもとに、技術指針の改定に必要な事項（特に施工の適切性に関する判断基準等）を蓄積 - 登山道維持管理データベースの充実

「大雪山の保全ルール」ポスター配布状況

令和 5 年度に作成した「大雪山の保全ルール」を一般の方々に分かりやすく紹介するため、ポスターを作成し、令和 6 年 3 月に 100 部印刷、同年 5 月に 100 部を増刷。

大雪山国立公園連絡協議会の構成員ほか、登山口周辺の旅館、ホテル、コンビニ、駅、空港、レンタカー会社等に対して、7 月現在 110 部ほど配布。

また、令和 6 年 4 月 22 日の北海道新聞朝刊旭川版 12 面で、ポスターと取組について紹介いただいた。

大雪山独自の保全ルールをイラストで表現するとともに、大雪山を守るためには行政だけではなく、登山者自身も守る一員であることを伝えるポスターとなっている。

そして、大雪山のルールが山麓の観光施設等で正しく伝わっていないとの課題もあり、ポスターを通してどの登山口でも、同じルールが登山客に伝わるよう、登山客の訪れる場所、登山道具販売店、山麓の宿泊施設等での掲示、また、HP や SNS を通した情報発信より一層進めたい。



大雪山国立公園ビジョン
まもり、活かし、つなげよう
みんなでつくる、世界を魅了する大雪山国立公園

大雪山国立公園連絡協議会

配布先(7月22日時点)

富良野市	上川町	東川町
美瑛町	上富良野町	南富良野町
上士幌町	士幌町	鹿追町
新得町	上川総合振興局	十勝総合振興局
上川南部森林管理署	十勝西部森林管理署	十勝バス
北海道拓殖バス	ひがし大雪自然館	東川観光協会
旭川電気軌道	旭岳ロープウェイ	美瑛町観光協会
富良野市観光協会	かみふらの十勝岳観光協会	南富良野観光郷会
旭岳ビジターセンター	ヒグマ情報センター	層雲峡ビジターセンター
層雲峡観光協会	道北バス	層雲峡黒岳ロープウェイ
上川駅	旭川コンベンション協会	旭川総合観光情報センター
旭川駅	上川町 DMO	旭川空港
層雲閣	ホテル大雪	層雲峡観光ホテル
朝陽リゾート	マウントビューホテル	朝陽亭
湯元銀泉閣	ペンション山の上	民宿戸館
層雲峡ホステル	大雪高原山荘	Anshindo
コロンビア	黒岳の湯	秀岳荘(旭川)
旭川空港 HONDA レンタカー	旭川空港 times レンタカー	旭川空港トヨタレンタカー
旭川空港日産レンタカー	旭川空港ニッポンレンタカー	層雲峡セイコーマート
層雲峡セブンイレブン	上川セブンイレブン	カムイミントラ DMO
モンベル東川	せんとぴゅあⅡ	望岳台
アートビレッジ杜季	ロジヌタプカウシペ	湯元湯駒荘
大雪山山荘	ベアモンテ	ラピスタ大雪山
しきしま荘	十勝岳温泉湯元凌雲閣	吹上温泉保養センター
十勝岳温泉公衆トイレ	層雲峡バスセンター	鹿追ジオパーク
北海道地方環境事務所	糠平館観光ホテル	大雪山国立公園管理事務所
東川管理官事務所	上士幌管理官事務所	

令和 6 年度における登山道等の整備及び維持管理について

環境省大雪山国立公園管理事務所

東川管理官事務所

上士幌管理官事務所

1. 中岳裾合平線道路（歩道）改修工事

■概要

当該歩道については、平成 25 年度に中岳分岐から中岳温泉区間を整備したが、その後、一部で侵食が進み拡幅・複線化などの荒廃が見られることから、土壌及び高山植生を保全するための登山道改修を令和 5 年度より 2 箇年かけて実施する。

施工にあたっては、植生のない裸地部分を中心に、侵食防止及び植生保護を行うことを目的とした導流工（登山道上に流れる水を早期に排水する施設）や床止工（登山道から流れる土砂を受け止め侵食を抑制する施設）を基本とし、沿線の自然の改変を極力避けるよう配慮する。

■区間

中岳分岐～中岳温泉 L=701m（うち令和 6 年度工事 L=360m）

■内容（当初）

- ①カゴ導流工（フトンカゴ） 27 基
- ②カゴ床止工（フトンカゴ） 43 基
- ③カゴ床止工（繊維系フトンカゴ） 6 基
- ④マキセル工 19 基
- ⑤植生基盤工（ネット蛇籠） 36 基
- ⑥ヤシ製土嚢工 163 基
- ⑦補修工 1.0 m³

※現地確認を踏まえて具体的な施工内容は変更する

■技術指導業務の発注

受注者：合同会社 北海道山岳整備

※有識者として施工位置、数量、方法等について
技術指導を依頼

■工期

令和 6 年 7 月～10 月末

2. 直轄歩道の維持管理作業

以下の直轄歩道において、歩道整備等を実施予定

①層雲峡勇駒別線道路（歩道）事業

- ・中岳分岐～間宮岳分岐区間における崩落、荒廃区間について補修（導流工、土留工施工）

②愛山溪北鎮岳線道路（歩道）

- ・三十三曲分岐～沼ノ平分岐区間におけるササの刈払い

③松仙園線道路（歩道）

- ・八島分岐周辺の泥濘及び侵食箇所における補修（飛木道工の施工等）
- ・次年度に使用する補修資材のスノーモバイルでの荷上げ（前年度報告書は別紙参照）

④沼ノ平姿見の池線道路（歩道）事業

- ・沼ノ平分岐～当麻乗越区間におけるササの刈払い
- ・沼ノ平分岐～当麻乗越区間の侵食箇所における補修（飛木道工の施工等）
- ・裾合分岐～当麻乗越区間における調査（補修箇所の調査及び補修方法の検討）
- ・次年度に使用する補修資材のスノーモバイルでの荷上げ（前年度報告書は別紙参照）

⑤トムラウシ山線歩道（歩道）

- ・倒木処理等の歩道維持管理
- ・カムイ天上からカムイサンケナイ沢間の木道整備

【参考】次年度以降における工事予定

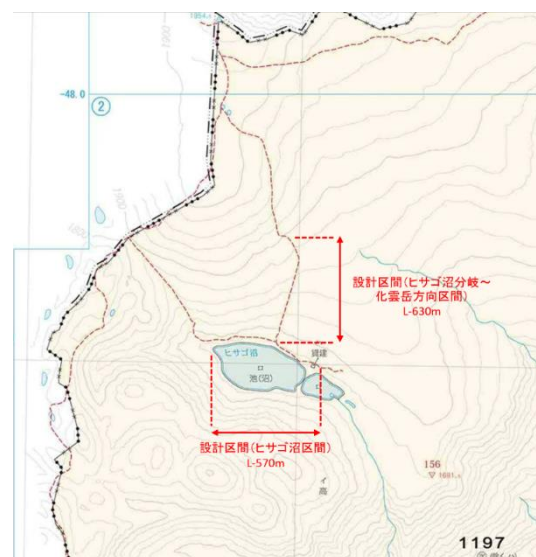
3. 大雪山縦走線道路（歩道）保全修復工事（予定）

<令和7年度>

- ① ヒサゴ沼周辺区間（新得町管内）
 - ・令和4年度に実施設計済
 - ・令和5年度及び令和6年度ともに
入札不調のため延期

<令和8年度以降>

- ②白雲岳避難小屋～五色岳区間（上川町管内）
 - ・令和3年度に実施設計済
- ② 五色岳～ヒサゴ分岐区間（新得町管内）
 - ・令和5年度に実施設計済
 - 令和6年度に追加実施設計予定



ヒサゴ沼周辺区間（位置図）

※抜粋

令和5年度
大雪山国立公園上川地区登山道補修等業務
完了報告書

発注者:北海道地方環境事務所

受注者:合同会社 北海道山岳整備

② 補修資材の荷上げ

運搬量: 木道用資材120本2400kgを当麻乗越迄の各所に留置

運搬期間: 2024年2月25日～3月27日(うち10日間)



① 八島分岐96本

※ 松仙園補修用75本と沼の平分岐付近補修用21本を分けて置いてある。



※ 松仙園補修用75本



※ 沼の平分岐付近補修用21本

② 六の沼24本



※ この場所にはボランティア運搬で荷上げた資材も追加されている。写真は追加された状態。

運搬資材と
スノーモービルの種類



＜運搬した木材＞
・8×20×180(cm)のトド松材(乾燥はしていない)
※写真は、ボランティア運搬の為購入した木材も含んだもの。

＜仕様スノーモービル＞
・Skidoo 800R E-TEC
・YAMAHA VK540（空冷エンジン）
・YAMAHA professional（水冷エンジン）2台



雪が多く道つけが必要な際skidooを使用。
運搬にはYAMAHAを使用。

スノーモービルによる荷上げ作業



・駐車場でソリへ木材を固定

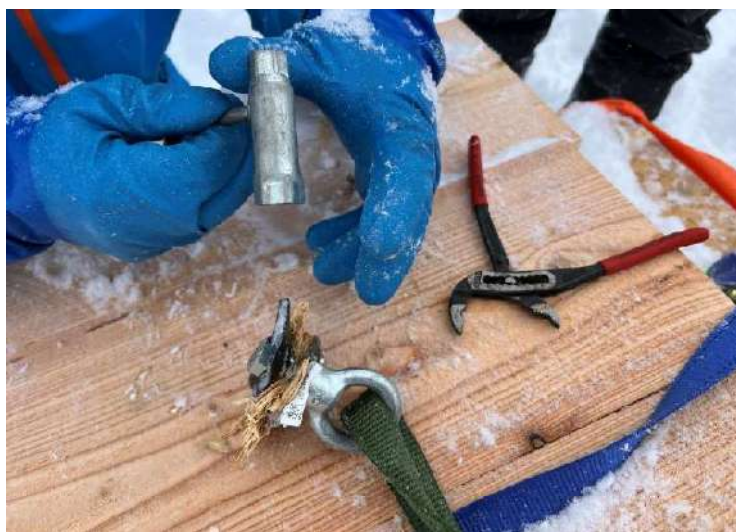


・約20kmは林道を走るため、ある程度幅がある道路を走行する。



・ソリと木材の固定を調整しながら走行。少しの調整で金具等への負担が大きく変わってくるためしっかりと調整する。

作業中



・ソリの補修。ソリとモービルの連結部分や木材固定部分には負荷がかかるため、走行中に金具が折れる等補修が必要となる。都度交換作業を行なう。



・中間地点へのデポ。
・10日間の作業のうち4日間は、出発地点からここへの2往復を行なった。



・2月下旬は積雪が少なかったが、3月に入ってから積雪が増え、木材を運搬しながらの走行が困難となる日が多かった。機動性の高いモービル(ski-doo)で道をつけつつ、木材を運搬する前に何度か往復して道を固めながら進む。

作業中



・積雪が多い時は走行中にモービルが埋まることもあり、都度掘り出しながら進む。積雪状況、雪の質、気温等により作業速度が大きく変わる。



・中間デポ地点から上部は道が狭くなり急坂も多いため、運搬前の道付けが必要。毎年雪の付き具合が変わるため、それに応じてできる限り良い道を探し、道付けを行う。運搬は、道付けを行なった後日、気温の低下で路面が固まってから行なった。



・急斜面手前まで運搬し、ここから本数を減らして急坂を登る。勢いをつけて登るが、路面状況によっては途中で止まってしまうこともある。路面状況は、気温や天候、走行技術に大きく左右される。

作業中



・時間や効率を考慮し、急坂を登り切った場所(四の沼上部)に一旦木材をデポ。ここまで運びきってから、各木材置場へ運搬を行なう。



・八島分岐や六の沼など、必要箇所にピンポイントで木材を置く。



・18時半頃には暗くなっているためライトをつけながらの走行。

道道 銀 泉 台 線 紅葉期の車両交通規制

町道 高原温泉線

目 的

- ☆ 道路の幅員減少等による交通事故防止のため
- ☆ マイカー利用による渋滞の解消と排気ガス等からの自然環境保護のため

概 要

- ☆ 規制日の昼間はマイカーの乗り入れを規制し、代替交通機関としてシャトルバスを運行
- ☆ 大雪レイクサイト臨時駐車場に高原温泉・銀泉台行きシャトルバスの臨時停留所を設置
なお、層雲峡バスセンター発着のシャトルバスも運行しています。(裏面時刻表参照ください。)
- ☆ シャトルバス内において、赤岳銀泉台及び高原沼めぐりの紹介と登山における注意事項を放送



☆規制予定日 (シャトルバス運行日、一般車両通行禁止)

令和6年 9月

日	月	火	水	木	金	土
8	9	10	11	12	13 ※銀泉19時~	14 銀泉台
15 銀泉台	16 銀泉台	17 銀泉台	18 銀泉台	19 銀泉台	20 銀泉台	21 銀泉台 高原温泉
22 銀泉台 高原温泉	23 銀泉台 高原温泉	24 高原温泉	25 高原温泉	26 高原温泉	27 高原温泉	28 高原温泉
29 高原温泉	30	1	2	3 銀泉台線閉鎖	4	5

- ・道道銀泉台線については9月13(金) 19時から24時間規制を行います。
ただし、次の車両は、午前6時のシャトルバス運行時間帯から通行できます。
定期バス、貸切バス、マイクロバス(定員11名以上)、営業車(ハイヤー、タクシー)緊急車両、許可車両
- ・町道高原温泉線については前日午後7時~当日午後4時30分までの規制とします。
ただし、次の車両は、午前6時30分のシャトルバス運行時間帯から通行できます。
貸切バス(車両総重量14トン以下に限る)、マイクロバス(定員11名以上)、営業車(ハイヤー、タクシー)
緊急車両、許可車両、高原山荘宿泊者車両(今年度は沼ノ原へ通り抜けできません)
- ・規制区間通行時、貸切バス(5,000円)とマイクロバス(3,000円)は、協力金をお願いします。
- ・規制期間中は、自転車などの軽車両や徒歩、釣り等の目的での通行はできません。

☆道路の冬季通行止めについては下記の通りです

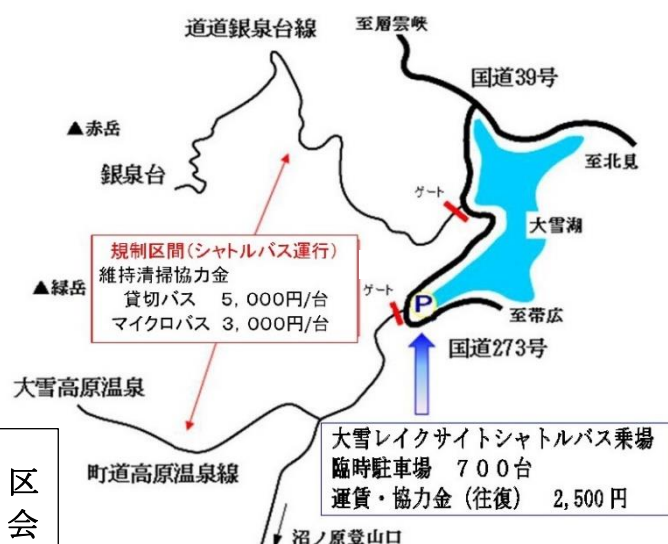
道道銀泉台線 10月3日(木)から

町道高原温泉線 10月11日(金)

※通行止め時期については現時点での予定です。

☆降雪状況や天候等により道路の安全対策上、道路管理者の判断により通行止めとなる場合もあります。
その場合シャトルバスも運休となります

大雪山国立公園高原温泉・銀泉台地区
自動車利用適正化対策協議会
問合せ先 上川町役場産業経済課 TEL (01658) 2-4058



令和6年度 シャトルバス時刻表・料金表

発着時刻に変更がございます。特に始発便と最終便の時刻を充分お確かめのうえご乗車ください。

層雲峡 ⇄ レイクサイト 間 片道500円 令和6年9月14日(土)～9月29日(日)					
層雲峡 Hostel 発	層雲峡 バスターミナル 発	レイクサイト 着	レイクサイト 発	層雲峡 バスターミナル 着	層雲峡 Hostel 着
<u>6:00</u>	<u>6:02</u>	<u>6:25</u>	<u>8:05</u>	<u>8:23</u>	<u>8:25</u>
	7:00	7:25	12:15	12:40	
	8:00	8:25	15:35	16:00	
	9:00	9:25	<u>16:05</u>	<u>16:23</u>	<u>16:25</u>
	11:15	11:40	16:35	17:00	
<u>14:15</u>	<u>14:17</u>	<u>14:42</u>			

注1) 網掛けは、層雲峡～銀泉台定期バスのため、9月30日まで運行します(レイクサイト経由は9/29まで)

銀泉台線 片道1,000円							
令和6年9月14日(土)～9月23日(月・振休)							
土日祝				平日(9時以降、45分間隔)			
レイクサイト 発	銀泉台 着	銀泉台 発	レイクサイト 着	レイクサイト 発	銀泉台 着	銀泉台 発	レイクサイト 着
<u>6:30</u>	<u>7:05</u>	<u>7:30</u>	<u>8:05</u>	<u>6:30</u>	<u>7:05</u>	<u>7:30</u>	<u>8:05</u>
7:00	7:35			7:00	7:35		
7:30	8:05			7:30	8:05		
8:00	8:35			8:00	8:35		
8:30	9:05			8:30	9:05		
9:00	9:35	9:00	9:35	9:00	9:35	9:00	9:35
9:30	10:05	9:30	10:05	9:45	10:20	9:45	10:20
10:00	10:35	10:00	10:35				
10:30	11:05	10:30	11:05	10:30	11:05	10:30	11:05
11:00	11:35	11:00	11:35				
11:30	12:05	11:30	12:05	11:15	11:50	11:15	11:50
12:00	12:35	12:00	12:35	12:00	12:35	12:00	12:35
12:30	13:05	12:30	13:05	12:45	13:20	12:45	13:20
13:00	13:35	13:00	13:35				
		13:30	14:05	13:30	14:05	13:30	14:05
		14:00	14:35				
		14:30	15:05			14:15	14:50
		15:00	15:35			15:00	15:35
<u>14:42</u>	<u>15:15</u>	<u>15:30</u>	<u>16:05</u>	<u>14:42</u>	<u>15:15</u>	<u>15:30</u>	<u>16:05</u>
		16:00	16:35	-	-	16:00	16:35

高原温泉線 片道1,000円							
令和6年9月21日(土)～9月29日(日)							
土日祝				平日(9時以降、45分間隔)			
レイクサイト 発	高原温泉 着	高原温泉 発	レイクサイト 着	レイクサイト 発	高原温泉 着	高原温泉 発	レイクサイト 着
6:30	6:55			6:30	6:55		
7:00	7:25			7:00	7:25		
7:30	7:55			7:30	7:55		
8:00	8:25			8:00	8:25		
8:30	8:55			8:30	8:55		
9:00	9:25	9:00	9:25	9:00	9:25	9:00	9:25
9:30	9:55	9:30	9:55	9:45	10:10	9:45	10:10
10:00	10:25	10:00	10:25				
10:30	10:55	10:30	10:55	10:30	10:55	10:30	10:55
11:00	11:25	11:00	11:25				
11:30	11:55	11:30	11:55	11:15	11:40	11:15	11:40
12:00	12:25	12:00	12:25	12:00	12:25	12:00	12:25
12:30	12:55	12:30	12:55	12:30	12:55	12:45	13:10
		13:00	13:25				
		13:30	13:55			13:30	13:55
		14:00	14:25				
		14:30	14:55			14:15	14:40
		15:00	15:25			15:00	15:25
		15:30	15:55			15:30	15:55
		16:00	16:25			16:00	16:25

注1) 網掛けは、層雲峡～銀泉台定期バスのため、9月30日まで運行します。

(銀泉台定期バス料金 920円 ※但しマイカー規制期間中は2,000円(協力金込))

注2) バス料金(往復2,000円)とマイカー規制協力金(500円)を一括したチケット(2,500円)をご購入いただくことになります。片道のチケットも販売しています。

時刻表・料金表変更箇所（令和5年比較）

時刻関係

レイクサイト発 層雲峡行き	17:05（土日祝のみに設定）	→ 廃止
レイクサイト発 銀泉台行き	6:00	→ 廃止（土日祝平日全て）
レイクサイト発 銀泉台行き	15:15（土日祝のみに設定）	→ 廃止
銀泉台発 レイクサイト行き	16:30（土日祝のみに設定）	→ 廃止
レイクサイト発 高原温泉行き	13:00（土日祝のみに設定）	→ 廃止
レイクサイト発 高原温泉行き	12:45（平日のみに設定）	→ 12:30（到着12:55）
レイクサイト発 高原温泉行き	13:30（平日のみに設定）	→ 廃止

料金関係

① レイクサイト⇄銀泉台線シャトルバス運賃	片道510円	→ 片道1,000円
② レイクサイト⇄高原温泉線シャトルバス運賃	片道510円	→ 片道1,000円
③ 層雲峡⇄レイクサイト	片道460円	→ 片道 500円
④ 層雲峡⇄銀泉台線（7/1～9/30）		
※マイカー規制期間中はレイクサイト経由運賃	片道510円	→ 片道 920円（ <u>マイカー規制期間以外</u> ） 片道1,500円（ <u>マイカー規制期間中</u> ）
⑤ 協力金	480円	→ 500円

※バス料金及び協力金の改定によりチケット価格についても変更

レイクサイト⇄銀泉台・高原温泉	1,500円	→ 2,500円
レイクサイト⇄銀泉台・高原温泉（片道）	1,010円	→ 1,500円